

三重県平和大行進ニュース 第5号

2014.6.13(金)

2014年原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

☆〈自治体訪問記〉松阪・堀田さんの報告

少し前のことですが、先月28日(水)に松阪原水協として橋本さんとともに多気町と大台町を訪問。久保行央多気町長、尾上武義大台町長とも懇談できました。

- 両町長に昨年の「三重県平和大行進記録集」を贈呈し、話がはずみました(松阪は三氏が投稿)。両町長とも初めてペナントに記入していただき、協賛金もそれぞれ5千円いただきました(アピール署名は以前に済み)。

※ 事務局より：堀田さんは病のため今年の行進責任者は交代しましたが、2日、手術を無事終え、療養中です。

☆〈同〉桑員・羽場さんの報告

11日、桑員原水協として木曾岬町→東員町→いなべ市をのべ7人(原水協1、三友会1、民商1、新婦人1、共産党2)で回りました(60km)。木曾岬町では加藤隆町長、伊藤律雄議長が応対され、町長のアピール署名と協賛金1万円をいただきました。東員町では議会開催中で多忙と総務課課長補佐が応対し、水谷俊郎町長の署名と協賛金1万円。いなべ市では総務課課長と面談しました。

☆〈同〉三泗・佐野さん、釜井さんの報告

四日市からのいいニュースです。地域原水協としては永年崩壊状態でしたが、四日市はもとも平和運動の歴史と伝統のある地域であり、新婦人は近鉄駅頭で独自の6・9行動を続けてきました。国際情勢も四日市市役所の対応も大きく変化しつつあるなか、このままでは県民の期待に応えられないと県事務局も支援に入りました。

- 先月28日に四日市市内で関係者会議(新婦人・医療生協・共産党など)がもたれ、出席団体を母体とした三泗原水協が再建されました。担当理事として佐野光信さん、釜井敏行さんがあたり、当面、地域の諸団体に加盟のよびかけ行動をおこなう、加盟費を徴収して財政基盤をつくる、平和行進と自治体訪問、夏の世界大会、来年のNPT再検討会議を成功させる、などを決めました。
- その流れで、11日、菰野町役場を訪問。これまで菰野町は桑員原水協が受け持っていました。桑員に了解を得て三泗原水協最初の行動として取り組むことになったものです。参加者は地域の新婦人から7名、議員2名、通し行進者の五十嵐さん、原水協の佐野さん、釜井さんの総勢11人の大勢になりました。応対されたのは出口利子副議長、総務課長で、議長からは協賛金1万円(アピール署名は町長・議長とも済み)。
- 出口副議長には全議員にアピール署名をしていただくよう依頼。受け取ってもらいました。2010年のときも同様の依頼をしており、署名趣旨が変わったのとNPT再検討会議を控えて新婦人のみなさんが提起したものの、弾みのついた行動になりました!

☆〈12日北勢コースの行進〉桑員・羽場さんの報告

晴れた空の下、桑名から富洲原駅前→四日市まで35kmを歩きました。

- 桑名の出発集会は7団体(全労働2、コープみえ2、新婦人12、民商5、医療生協6、年金者組合6、共産党5、その他7)の45人が集まり、水谷総務部長が伊藤徳宇市長のメッセージを代読。協賛金は市長・議長で3万円。参加者数は昨年より増加。
- 次の朝日町では田代謙二郎町長、飯田徳昭議長を先頭に議員多数が出迎えてくれました。毎年の行進の恒例になっていますが、冷たい対応の自治体もあるなか、ほんとうに励まされる朝日町です(両名からの署名、メッセージ、協賛金1万円をいただく)。
- 川越町(町長・議長の署名と協賛金1万円)を通過して富洲原駅前で昼食。四日市のみなさんと同市役所前に到着したのは16時30分でした。沿道募金は5千円。